

空富士戦の後半戦の四日、このまま千秋楽を迎える事を願う錦風親方と教会陣からも期待がかかるその土俵から目が離せない。

一部屋頭の若乃嶋と共に出る事を願う錦風親方と教会陣からも期待がかかるその土俵から目が離せない。

続く七日目も春ノ翔との大関戦となり、立会いから優勢を低く取り左を伺う春ノ翔に右を押さえてつた。春ノ翔に胸を合わせると体を起こされ左を差されるも、素早い反応で右腕を取り土俵際で粘りを見せ引き落として一勝を挙げた。残り四日の勝星の結果次第では大関への足がかりも視野に入ってくるだけに、こちらも錦風親方からの期待が高まる。



水晶嶽●(寄り切り)○出羽嵐



佐賀海○(引き落し)●春ノ翔



魁 電●(引き落し)○佐賀海

翌七日目は2連敗のあと巻き返してきた2回の相手を立会いの押出しで勝ち、素早く左を差し一気に攻め立てる出羽嵐。深く差した左を緩めること無く土俵一周ほの攻め粘ると、左足一本で粘る夢力を正面土俵に寄り切った。残り四日も先場所の借りを返せるほどの白星を重帰も狙えそう。



夢 力●(寄り切り)○出羽嵐

中盤戦の七日目までを取り終えて、優勝線の先頭に立つのは平幕下位の生駒山。その先頭を二敗の横綱若乃嶋、関脇佐賀ノ海、平幕の出羽嵐が追走。更空富士、春ノ翔、若剣、空富士、四季嶋、綱風、伊達の富士が続く展開で残り四日間の後半戦を迎える。全勝とはいえない先頭が平幕力士だけに、まだまだ予断を許さない状況のなか、このまま平幕力士に先頭を譲り続けてしまうのか？それを生駒山が屈してしまうのか？



美空富○(押し倒し)●剛勇山

八日目を全く予想のつかない展開で千秋楽の開催日を迎えそう。相変わらず理事長の協会陣の気をもんで、紙相撲ファンにとっては応援材料は、残り四日とも熱戦に期待を寄せた。さらなる展開に乞うご期待!

(香具山)

千代鈴今場所も全勝中

七日目を終えて、千代鈴が7戦全勝として2場所連続全勝優勝に向けてその強さは揺るがず、十両では敵なしといった様相。1敗は喜乃郷のみとなり、照の王、鬼ヶ嶽、太刀鳳、葵盛、若佑、桃乃洲、春雷、粲ノ城の8人が2敗で追う展開となった。

千代鈴は中日に1敗の太刀鳳と対戦。「たっちゃん(太刀鳳のこと)は嫌な相手だなあ。たっちゃん結構強いですよ。」と今場所初めの国技館での観戦となった春日根親方。今場所の愛弟子の相撲を始めて直接観戦するにあたって自ずと力が入りそうなものだが、特に表情を変えることなく評論家の淡々とこの一番を解説した。

両者立ち上がるや太刀鳳が左を差し気味に優勢かと思われたが、そこから覆いかぶさるよう千代鈴が右腕で押すと太刀鳳はたまらず土俵下に仰向けに倒れた。「いや～！危なかったなあ！」と春日根親方。左からの攻めだけでなく右からの攻めの幅広さをみせつけた相撲となった。



若 佑●(寄り切り)○千代鈴



太刀鳳●(押し倒し)○千代鈴

話題は十両の優勝争いではなく、来場所の幕内での活躍の話題。「来場所は前頭中位くらいにやるから、勝ち続ければ、横綱、大関とも当てるのでは？」と錦風さん、若乃嶋といひださる。「理事長、松理事長。」「理事長、錦風さん。」「理事長、若乃嶋をいじめないでくださいよ！」と錦風親方が応援する一幕があった。残り4日でまずは1敗の喜乃郷との対戦が組まれるだろうが、千代鈴の勝利は揺るがないだろう。

十両で千代鈴に次ぐ力を持った千代鈴に、活した照の王だ。復活した照の王は、七日目に太刀鳳の低い出足に敗れて鳳の低くなった。今場所東西の筆頭に位置する元大関の照の王と鬼ヶ嶽。ともにここまで5勝2敗と幕内復帰に向けて順調に星を伸ばしている。十両で取る力士ではないだけに大勝ちして再び幕内上位での活躍を期待したい。

今場所の新十両は西勢ノ里、山辺、春雷の3人だが、明暗が分かれている。春雷は5勝2敗と勝ち越して1つとしたが、西勢ノ里は1勝6敗と早くも負け越して1つ減っている。山辺も2勝5敗と苦戦している。負けが込んだわけではないのでここからの巻き返しが期待したい。



照の王○(寄り倒し)●龍不動



粲ノ城●(寄り切り)○喜乃郷

(錦風)